

第18回 ACTV 放送番組審議会報告

このページは、全関西ケーブルテレビジョン（ACTV）の番組審議会のページです。

「放送法 第6条第1項」の規定により、放送番組審議機関として、「ACTV 番組審議会」を設置し、自主放送番組の審議を行っております。

ACTV の番組審議会は、年に1回開催しております。議題は、番組内容、編成方針、その他コミュニティチャンネルの放送サービス全般に渡っております。

ACTV では、審議会で提出されたご意見・ご質問・ご要望や斬新なアイディア、感想などを番組制作の改善や編成業務の参考にさせていただきます。

平成27年度番組審議会委員（敬称略・順不同）

委員長	帝塚山大学 名誉教授	森 一貫
委員	朝日放送（株）経営戦略室 局次長待遇 マネージャー	木村 祥隆
委員	鳥取県八頭町企画課長	川西 美恵子
委員	（株）ロイヤルホテル 代表取締役副社長	高舛 啓次
委員	和歌山県すさみ町地域未来課主幹	仲 哲生
委員	朝日新聞大阪本社グループ企業・ネットワーク担当部長	平岡 和幸
委員	京丹後市企画総務部情報政策課長	吉岡 敬恭

日時：平成27年7月29日（水） 11：30～12：30

場所：全関西ケーブルテレビジョン 本社会議室

出席者：委員6名出席 ※仲委員は欠席

（委員長）森一貫

（委員）木村祥隆、川西美恵子、高舛啓次、平岡和幸、金木美由紀（吉岡委員代理）

（ACTV）松尾匡、田中恒夫、山野賢太郎、迫田マサキ

番組審議会議事

審議対象作品：当社のケーブルテレビ事業のコミュニティチャンネル放送番組。

1. 全局共通番組 「歴史街道 京丹後市網野町 鳴き砂の浜 琴引浜」（13分）
2. ACTV すさみ放送局 「すさみ町 少年少女スポーツクラブの紹介」（25分）
3. ACTV 八頭放送局 「下船岡神社 神幸祭」（20分）
4. ACTV 京丹後放送局 「京丹後百寿人生のレシピ 第10回 ぼたもち」（15分）

審議内容

審議対象作品に対する審議委員全体の感想は、「特に問題のある番組はない。地域密着の特徴も出ており、住民も多く映っており、それぞれの表情もよい。」というものだった。各審議委員の意見、要望、感想は次の通りです。

1. 「歴史街道 京丹後市網野町 鳴き砂の浜 琴引浜」

歴史とのかかわりも分かり易く、音もクリアでテンポも良い。行ってみたいと思う内容だ。ただ、放送エリアが広域なのだから、もっと地元の特産品や周辺観光施設も入れた方がよいのでは、などの意見も多くあった。

2. 「すさみ町 少年少女スポーツクラブの紹介」

子どもたちの練習内容はよくわかるが練習風景だけでなく、試合の様々なども入れた方がよい。また随所にアナウンスを入れ補足すればあきないのではないかと。全体に番組が長いと感じた。

3. 「下船岡神社 神幸祭」

この祭りに行ってみたいと思う内容だ。カメラワークもよい、観光資源になるのではないかと。参加者の表情も、インタビュー、アナウンスもわかりやすい。ただ同じシーンが何度も出てくるのがしつこいという意見もあった。

4. 「京丹後百寿人生のレシピ 第10回 ぼたもち」

料理番組としてはわかりやすく、レシピもテロップで出ておりわかりやすい。各家庭で実際に食べているシーンや、なぜ長寿なのかの説明があればなおよかった。

ACTV より

番組制作をするうえでの各委員からのご意見は的を得たものであった。

何名かの委員から、各エリアでの番組の相互交流を指摘された。

地域密着の番組のため、知らない街の番組を相互で放送する難しさはあるにせよ、番組を制作するうえでの情報交換のツールとして、番組交流は大事ではないかとの結論になった。

松尾代表取締役社長

大変意義のある意見をいただき有難うございました。

ACTV では、地域住民が元気になる番組作りを目指しております。

当社の番組制作も、地域密着のものと広域への発信のものと、それぞれモードを変えて取り組まねばなりません。

地域密着の番組は企画段階から見やすい番組作りを考え、広域発信のものは、地元観光情報や特産品を紹介する、など番組全体に工夫を凝らした制作ができるようにいたします。

審議会報告事項として

平成 27 年 6 月 30 日付けで、ACTV 放送番組基準の一部改訂とアニメーション等の映像手法に関するガイドラインについての整備をした。

報告内容は、2014 年 12 月に各地のケーブルテレビ局（当社は該当せず）で放送されたスペースシャワーTV（CS 衛星放送）の番組の一部において、日本ケーブルテレビ連盟が規定する「アニメーション等の映像手法に関するガイドライン」に抵触する恐れのある映像手法が用いられたため、総務省より全国の CATV 事業者に対して、日本ケーブルテレビ連盟を通じて再発防止要請があった。

総務省の要請内容は、下記のとおり。

1. アニメーション等の映像手法に関するガイドライン」が自主放送の放送番組基準に記載されているか。記載されていない場合は、追加すること。
2. 自主放送の放送番組基準はホームページで公表すること。
3. 本件は、番組審議会でも報告すること。

ACTV では、以上の要請を厳守し、放送番組基準を一部改訂し、アニメーション等の映像手法に関するガイドラインへの説明文を加え、平成 27 年 6 月 30 日時点で、すべて整備した。